

行政改革のこれまでの取り組み

本市の行政改革は、4町合併後、平成18年2月に策定した行政改革大綱を契機に一層の行政サービスの向上と多様化する市民ニーズに対応できる質の高い行政サービスを提供し効率的・効果的な行政運営を目指し遂行してきました。その取り組みの狙いとするところは、除々に肥大化してきた行政サービスを抜本的に見直し、組織・財政といった行政内部の体力を向上させながら、時代の変化に応じたより良い行政サービスを実現することにあります。

そのために具体的方策を取りまとめた行政改革プランを策定しました。改革プランの目標に対しては、100の改革プラン中75プラン(28の進捗管理が必要なものを含む)で目標を達成しました。

特に人的な視点と財政的な視点の計画では、7割以上が目標を達成し、引き続き進捗管理が必要な計画については、計画的に進行している状況です。

行政改革の基本目標と視点

本市の目指す将来像「薫風新都～みんなでつくる・笑顔あふれる小城市～」、基本目標『和』で織りなす美しいまちの実現に向けて、次の基本目標を柱とします。

小城市の基本目標…効率的な行財政運営のまち

また、基本目標に基づき、次の5つの視点から行政改革に取り組みます。

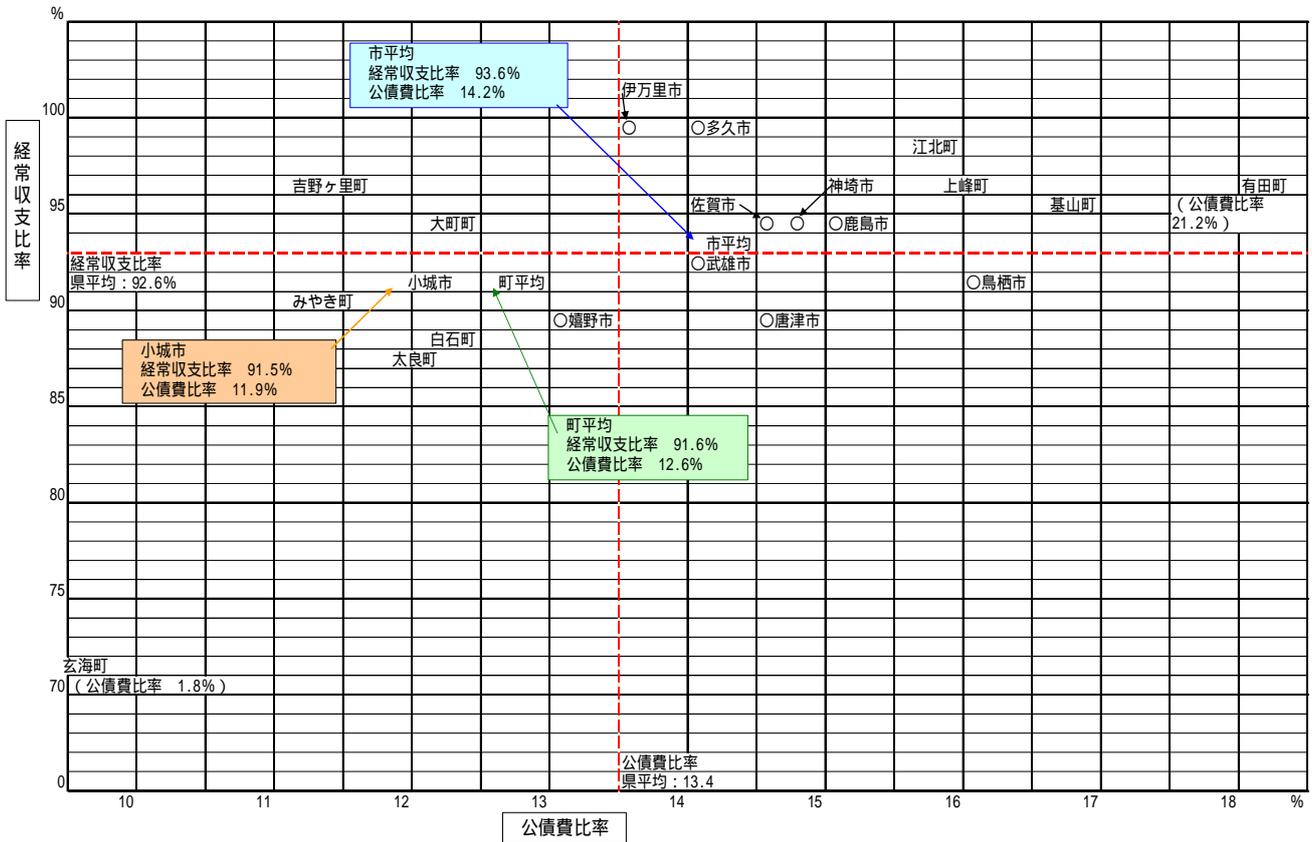
- 1 市民ニーズに柔軟に対応できる業務処理体制の構築
- 2 高度で質の高い行政サービスの提供
- 3 透明性の高い公正で合理的な行政運営
- 4 財政の健全化に努め、効率的・効果的な財政運営
- 5 公共施設の適正配置と統合整備の計画的な推進

改革実現に向けた主な取り組み

小城市行政改革大綱で「改革実現に向けた主な取り組み」で財政運営上の目標、職員数の目標、審議会等への女性登用について目標指数（5年後）を定めています。

1. 財政運営の改革の目標数値としては、
経常収支比率 90%以下、
公債費比率 14.0%以下と決めました。

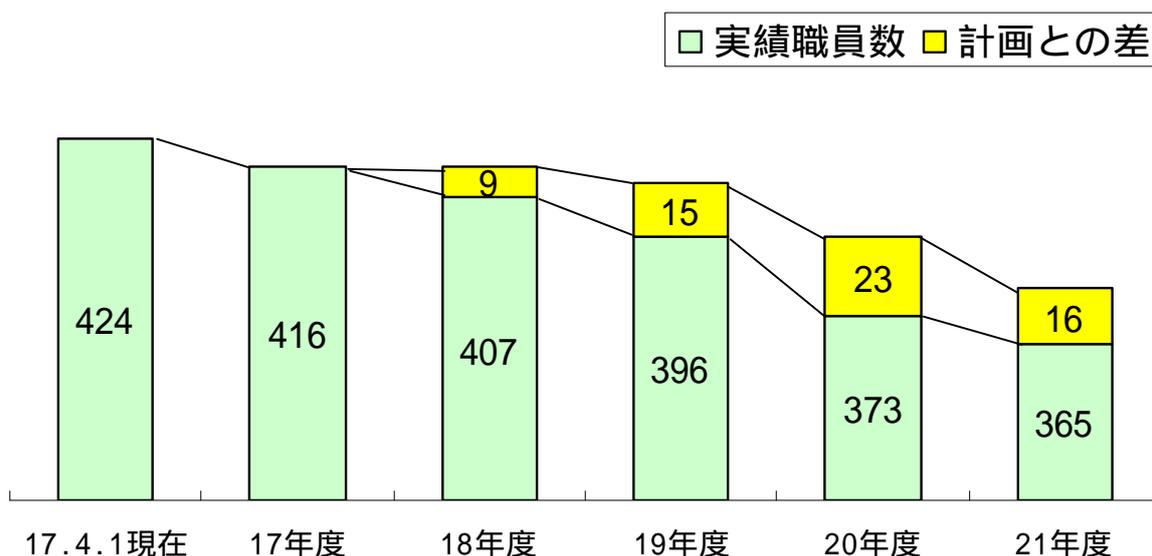
平成20年度佐賀県市町の財政構造の弾力性について
 （経常収支比率：公債費比率）



実績	H16	H17	H18	H19	H20	H21	目標数値
経常収支比率 (%)	93.3	90.9	90.2	93.1	91.5		90.0 以下
公債費比率 (%)	12.6	12.5	13.0	13.4	11.9		14.0 以下
実質公債費比率 (%)		7.3	8.0	8.6	8.7		

2. 定員管理に関する改革として定員適正化計画の中で数値目標として、5年後の一般職員の目標数を10%減とします。

職員削減計画と実績の比較 (単位:人)



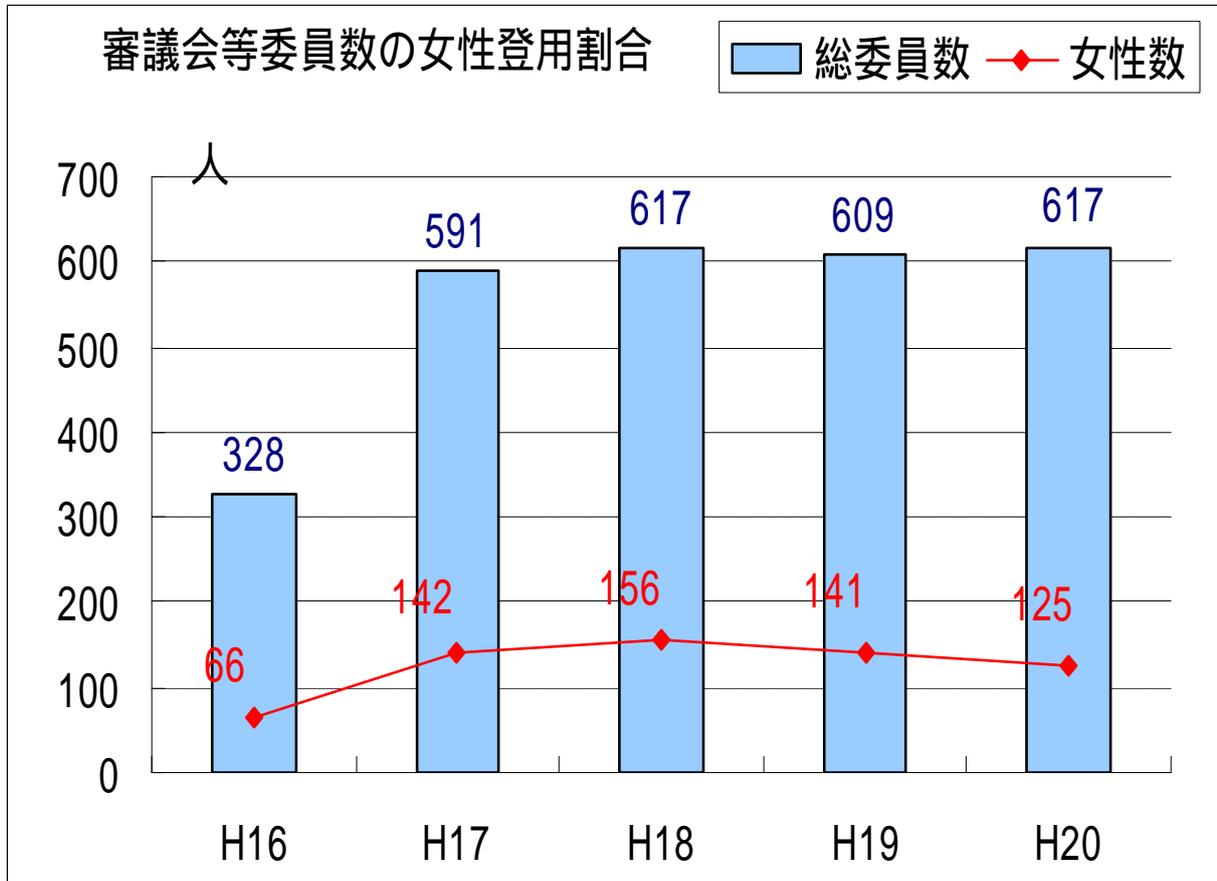
職員削減(医療職を除く)及び職員採用計画

計画/実績		H17	H18	H19	H20	H21	計
退職者数(人)	計画	8	3	8	19	20	58
	実績	8	12	15	28		63
採用者数(人)	計画	0	3	3	4	5	15
	実績	0	3	4	5		12
職員削減数(人)	計画	8	0	5	15	15	43
	実績	8	9	11	23		51
削減率(%)	計画	1.9	0.0	1.2	3.5	3.5	10.1
	実績	1.9	2.1	2.6	5.4		12.0

平成17年4月1日現在対象職員数 424 人

目標数値 10.0%減

3. 市民協働に関する改革として審議会等への女性登用率を平成21年度までに30%以上を目標とします。



実績	H16	H17	H18	H19	H20	H21	目標数値
審議会等数(委員会)	19	44	46	46	46		
総委員数(人)	328	591	617	609	617		
公募制導入審議会数(委員会)	-	4	4	3	3		
公募による委員数(人)	-	10	10	24	25		
女性数(人)	66	142	156	141	125		
審議会等女性登用率(%)	20.1	24.0	25.3	23.2	20.3		30.0以上